2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　株式会社ソリトンシステムズ　　上場取引所　東
コード番号　　3040　　ＵＲＬ　https://www.soliton.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）鎌田　理
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　経営管理部長　（氏名）三須　貴夫　（TEL）　03-5360-3801

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	15,926	14.5	2,925	56.9	3,043	59.1	2,226	57.3
2025年12月期第３四半期	13,904	5.0	1,864	79.0	1,913	78.0	1,415	95.0

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　2,227百万円（67.8%）　2025年12月期第３四半期　1,327百万円（87.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	120.06	－
2025年12月期第３四半期	76.36	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	27,916	14,428	51.7
2025年12月期	26,228	13,256	50.5

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　14,421百万円　2025年12月期　13,247百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	26.00	－	28.00	54.00
2026年12月期	－	30.00	－		
2026年12月期（予想）				42.00	72.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,300	12.8	3,900	37.1	3,950	32.7	2,670	16.2	144.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規　-社　（社名）-、除外 1社　（社名）(株)Sound-FinTech

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	19,738,888株	2025年12月期	19,738,888株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,187,631株	2025年12月期	1,197,498株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	18,545,193株	2025年12月期３Ｑ	18,538,783株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当っての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に 関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（会計方針の変更に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間の世界経済について、米国は生成AI関連の投資や底堅い雇用環境を背景に堅調に推移しました。欧州はエネルギー価格や地政学的リスクの影響で、景気回復のペースが緩やかに推移し、中国は不動産市場の低迷や個人消費の伸び悩みが続きました。日本は、物価上昇の影響を受けながらも、企業収益の改善や設備投資需要、インバウンド需要に支えられ、景気は緩やかな拡大基調が続きました。

IT投資については、企業競争力の強化や業務効率化を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みが引き続き堅調に推移しました。生成AIを活用した業務変革、クラウド活用の高度化、レガシーシステムの刷新、人材不足への対応を目的としたIT投資等が継続しています。

一方で、国内外でAIを悪用したと推察される高度なサイバー攻撃による大規模な情報漏洩事案が相次いで発生しており、認証情報の窃取を起点とする被害が拡大しています。このため、ゼロトラストセキュリティへの関心が高まっており、企業や官公庁をはじめとするあらゆる組織で多要素認証・アクセス管理基盤の導入や刷新の重要性があらためて認識されています。経済産業省主導のサプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度（SCS評価制度）の整備も進められており、サイバーセキュリティ投資への機運は一層高まっています。また、政府では安保３文書を踏まえたサイバー防衛体制の強化や、能動的サイバー防御の実現に向けた制度整備が進展しています。

このような環境下、高採算のITセキュリティ事業が業績を牽引し収益性が向上、売上高15,926百万円（前年同期比14.5%増）となり、粗利率は49.3%（前年同期：46.4%）となりました。その結果、営業利益は2,925百万円（前年同期比56.9%増）、営業利益率は18.4%（前年同期：13.4%）となりました。経常利益は、受取利息等で営業外収益を133百万円計上し、3,043百万円（前年同期比59.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,226百万円（前年同期比57.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

第１四半期連結会計期間より、従来「全社費用」に含めていた遠隔運転の基盤技術開発チームにかかる費用を、「映像コミュニケーション事業」に含めることに変更しました。当該変更後のセグメント区分に基づき前第３四半期連結累計期間のセグメントの業績値を変更し、前年同期比較を記載しています。

① ITセキュリティ事業

売上高は15,033百万円（前年同期比14.6%増）、セグメント利益は3,762百万円（前年同期比48.7%増）となりました。

主要領域の「商品・製品」の売上が6,169百万円（前年同期比24.4%増収）、「クラウドサービス」の売上が2,280百万円（前年同期比17.7%増収）と堅調に伸長しました。「商品・製品」では、旧バージョンのEOL（※1）に伴う更新需要により、国内シェアNo.１の認証アプライアンス「NetAttest EPS」の販売が順調でした。「クラウドサービス」では、多要素認証クラウドサービス「Soliton OneGate」の売上が着実に増加しています。また、自治体強靭化第２期向けに、「Soliton SecureBrowser」と「FileZen S」等を組み合わせたネットワーク分離ソリューションの受注が好調な出だしとなっています。一方、当社子会社の株式会社サイバー防衛研究所は、NATO加盟国を含む60か国以上でサイバーレジリエンス（※2）強化の実績を有するCybExer Technologies社（所在地：エストニア）と連携し、政府機関や重要インフラ事業者向けに高度なサイバー演習環境の構築やサイバー防衛分野における調査研究・分析等の技術的支援を提供しています。

（※1）「End of Life」の略、製品・サービスの販売およびサポートの終了のこと。

（※2）サイバー攻撃による被害を最小化し、事業継続と迅速な復旧を実現するための組織の対応力・回復力

② 映像コミュニケーション事業

売上高は762百万円（前年同期比19.6%増）、セグメント損失は183百万円（前年同期はセグメント損失163百万円）となりました。

「Smart-telecasterシリーズ」は、防衛・治安・防災などのパブリックセーフティ分野向け販売が国内で堅調に推移し増収となりましたが、映像配信システムを構成するハードウェア価格の上昇等により減益となりました。

「Smart-telecasterシリーズ」は、PCやスマートフォンから遠隔で現場状況をリアルタイムに把握できる特徴を有しており、自治体などにおける災害対応の実績があります。当第３四半期連結会計期間においても、集中豪雨災害に際し、被災地域の自治体や関係機関の迅速な現地状況の把握や意思決定、復旧・復興活動の支援に活用されました。

③ Eco 新規事業開発

売上高は130百万円（前年同期比14.7%減）、セグメント損失は212百万円（前年同期はセグメント損失125百万円）となりました。

売上高はほぼ既存の人感センサーのみの構成で、減収になりました。しかし、アナログエッジAIの開発は、統合検証と修正を慎重に行い、試作品製造に向け進めています。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の当社グループの総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,688百万円増加し、27,916百万円となりました。

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,865百万円増加し、25,819百万円となりました。これは主に有価証券が2,000百万円、商品及び製品が469百万円、前払費用が214百万円、売掛金が159百万円増加した一方、現金及び預金が954百万円、電子記録債権が79百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて177百万円減少し、2,097百万円となりました。これは主に、差入保証金が23百万円、工具、器具及び備品が12百万円増加した一方、繰延税金資産が132百万円、ソフトウエア仮勘定が54百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて511百万円増加し、13,407百万円となりました。これは主に、契約負債が1,130百万円、支払手形及び買掛金が322百万円増加した一方、賞与引当金が473百万円、未払法人税等が265百万円、その他流動負債が223百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4百万円増加し、80百万円となりました。これは主に、リース債務が4百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,172百万円増加し、14,428百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,150百万円増加したこと等によるものであります。

なお自己資本比率は51.7%（前連結会計年度末比1.2ポイント増加）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において2026年８月12日に公表した数値から変更ありません。修正が生じた場合、速やかに開示します。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,858	9,903
電子記録債権	1,349	1,270
売掛金	2,695	2,855
有価証券	6,000	8,000
リース投資資産	97	109
商品及び製品	1,050	1,519
仕掛品	66	92
原材料及び貯蔵品	48	45
前払費用	1,677	1,892
その他	125	145
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	23,954	25,819
固定資産		
有形固定資産	731	724
無形固定資産		
ソフトウエア	210	200
ソフトウエア仮勘定	60	6
その他	14	14
無形固定資産合計	285	221
投資その他の資産		
投資有価証券	12	12
差入保証金	378	401
繰延税金資産	393	260
その他	472	476
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,257	1,151
固定資産合計	2,274	2,097
資産合計	26,228	27,916

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,420	1,742
リース債務	32	39
未払金	564	636
未払法人税等	655	389
契約負債	8,931	10,061
賞与引当金	752	278
役員賞与引当金	57	－
その他	482	259
流動負債合計	12,896	13,407
固定負債		
リース債務	65	69
その他	10	10
固定負債合計	75	80
負債合計	12,971	13,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,326	1,326
資本剰余金	1,406	1,415
利益剰余金	12,163	13,314
自己株式	△1,310	△1,299
株主資本合計	13,585	14,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△338	△335
その他の包括利益累計額合計	△338	△335
非支配株主持分	9	7
純資産合計	13,256	14,428
負債純資産合計	26,228	27,916

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	13,904	15,926
売上原価	7,447	8,070
売上総利益	6,457	7,855
販売費及び一般管理費	4,593	4,930
営業利益	1,864	2,925
営業外収益		
受取利息	21	93
受取配当金	20	26
為替差益	11	7
貸倒引当金戻入額	－	0
償却債権取立益	2	－
その他	8	6
営業外収益合計	64	133
営業外費用		
支払利息	0	－
固定資産除却損	0	－
貸倒引当金繰入額	0	－
投資事業組合運用損	13	15
その他	0	0
営業外費用合計	15	16
経常利益	1,913	3,043
特別利益		
固定資産売却益	44	0
子会社株式売却益	－	63
特別利益合計	44	63
特別損失		
投資有価証券評価損	16	－
関係会社出資金売却損	105	－
特別損失合計	122	－
税金等調整前四半期純利益	1,835	3,106
法人税、住民税及び事業税	369	749
法人税等調整額	52	132
法人税等合計	421	882
四半期純利益	1,413	2,224
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△2	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,415	2,226

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	1,413	2,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	△85	2
その他の包括利益合計	△86	2
四半期包括利益	1,327	2,227
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,330	2,229
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△1

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	240百万円	239百万円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、従来「全社費用」に含めていた遠隔運転の基盤技術開発チームにかかる費用について、基礎研究が完了し当期より事業化を推進することから、「映像コミュニケーション事業」に含めることに変更しました。当該変更後のセグメント区分に基づき前第３四半期連結累計期間のセグメントの業績値を変更し、前年同期比較を記載しています。

Ⅱ　前第３四半期連結累計期間（自2025年１月１日　至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	ＩＴセキュリティ	映像コミュニケーション	Eco 新規事業開発	
売上高				
商品・製品	4,958	229	93	5,280
保守	4,071	39	－	4,111
クラウドサービス	1,936	71	－	2,008
役務その他収益	2,147	296	59	2,503
顧客との契約から生じる収益	13,114	637	152	13,904
外部顧客への売上高	13,114	637	152	13,904
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	6	13	28
計	13,123	643	166	13,933
セグメント利益又は損失（△）	2,530	△163	△125	2,240

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,240
全社費用（注）	△376
四半期連結損益計算書の営業利益	1,864

（注）全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅲ　当第３四半期連結累計期間（自2026年１月１日　至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	ＩＴセキュリティ	映像コミュニケーション	Eco 新規事業開発	
売上高				
商品・製品	6,169	388	115	6,673
保守	4,079	47	－	4,126
クラウドサービス	2,280	80	－	2,360
役務その他収益	2,504	245	15	2,766
顧客との契約から生じる収益	15,033	762	130	15,926
外部顧客への売上高	15,033	762	130	15,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	12	－	34
計	15,055	775	130	15,960
セグメント利益又は損失（△）	3,762	△183	△212	3,366

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,366
全社費用（注）	△441
四半期連結損益計算書の営業利益	2,925

（注）全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。